



テスト名	日経TEST 企業・団体試験	実施日	2023/1/1
氏名	日経 太郎	生年月日	2000/1/1
受験番号	23175-2300300	問題コード	23K04
属性区分	銀行 / 一般社員・その他		

経済知力スコア	569	経済知力偏差値	55
パーセンタイルランク	71	同一属性内偏差値	54

※パーセンタイルランク：受験者を得点別に並べたとき、あなたよりスコアの低い人が受験者全体の何パーセントいるかを表す数値です。0から100の間で、数値が高いほど上位に位置することを示します。

「経済知力スコア」とは

スコアとは、項目反応理論(Item Response Theory)と呼ばれる統計モデルを使って算出した数値で、受験者全体の能力分布や問題の難易度に影響されず、常に同じ尺度で受験者の能力を測定・評価することができます。必ずしも正常数や正整数とは一致しません。経済知力スコアはビジネス遂行力の高低を直視するものではありませんが、企業が採用や昇進などの際の判断材料として利用できます。ビジネスは知識と知力に強く依存しており、スコアが高ければ、その知識と知力を生かしてビジネス上層位になる可能性が高いと考えられるからです。この観点で、日経TESTでは経済知力スコアとビジネス遂行力の関係に、以下の「目安」を設定しています。

700～	経済に関する広く深い知識をベースにした高い視座と広い視野を有し、経済全体の流れをつかみ、鋭い視点を武器に先を競うに秀でる。組織全体の経営をリードし、変革を主導する素地をもつ。
600～700	経済に関する必要かつ十分な知識をベースとした視野の広さや確かな視点にもとづく思考力を有し、先を競う力をもつ。部門をマネジメントし、組織変革の中核的人材にふさわしい素地をもつ。
400～600	経済に関する基本的な知識を有しており、これをもとに日々の業務を着実に実行できる。部門の中核的人材として、組織力の強化に欠かせない存在である。
～400	ビジネス活動に必要な経済に関する基本的な知識を習得する途上にある。

「経済知力偏差値」「同一属性内偏差値」とは

「経済知力偏差値」とは、日経TESTの直近10年間の受験者の中で自分がどれくらいの位置にいるかを表す数値で、経済知力スコアをもとに算出されます。一般の偏差値と同じように、スコアが平均点であれば50で、スコアが高ければ高いほど、偏差値も高くなります。一方、受験者が申告した属性区分に基づき、受験者と同一業種・職種のグループ内で見ると受験者がどのくらいのレベルにあるかを偏差値で示したのが、「同一属性内偏差値」です。

スコア・偏差値・パーセンタイルランク

今回の試験結果を経済知力スコア、経済知力偏差値、パーセンタイルランク、同一の業種・役職（属性）内偏差値で示しています。



成績表

日経TEST 企業・団体試験

日経 太郎 殿

実施日 2023/1/1

生年月日 2000/1/1

経済知力スコア
(1000点が上限の目安) **569**

成績表

あなたが、いつの試験でどれだけの成績をあげたかを主催者より公式に認定するものです。証明書としてお使いください。

活用のための基本

日経 TEST を有効に活用いただくには、以下について理解していただくことが望まれます。

- ①結果だけにとらわれない

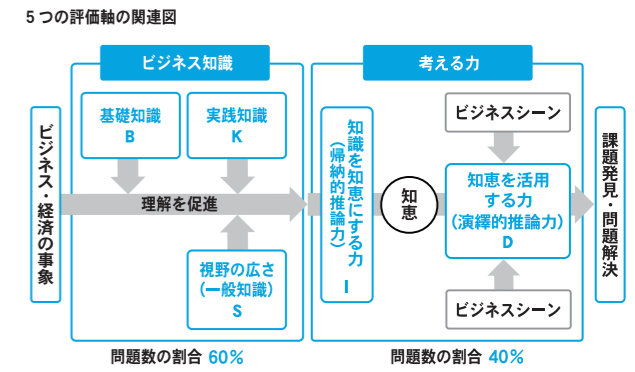
日経 TEST は「成長支援のテスト」です。スコアや偏差値、順位は重要ですが、それにとらわれてばかりいるのはあまり生産的ではありません。現状を把握し、成長課題を発見するためのツールとして、今後の成長のために役立てる姿勢が大切です。
- ②「具体的な課題」を見いだす

成長のためには、「やるべきこと」を具体的に特定しなければなりません。成績表に記されたコメント、アドバイスなどをフルに活用して、すぐに始められる具体的な学習課題を見いだすことが必要です。日本経済新聞出版より毎年、「日経経済知力テスト公式テキスト&問題集」が出版されています。こちらを熟読して今後の学びの方向の参考にすることも有効でしょう。

「評価軸」とは

日経 TEST は5つの構成要素を測る5種類の問題から構成され、受験者の経済知力を総合的に分析しています。「ビジネス知識」はビジネス上の思考活動に必要な知識であり、その知識を活用するために重要になるのが「考える力」で、事業構想力や仮説構築力を見る際にも有効です。

- ▶基礎知識 [Basic]：文字通り、経済・ビジネスを正しく理解するための基礎知識です。「GDP」「金利」「株式会社」など経済・経営に関する基本常識に加え、決算書の読み方やマーケティングなどに関する基礎的な知識も含まれます。
- ▶実践知識 [Knowledge]：企業を取り巻く経営環境と、環境変化に応じた戦略、対応策（企業戦略）に関する知識です。自社や自社が属する業界だけでなく、他社・他業界の動向にもアンテナを高くしておくことが必要です。
- ▶視野の広さ [Sensitive]：多様な社会現象や国内外の政治、環境、科学技術など、いわゆる経済の枠を超えた幅広い知識を指します。ビジネスの役に立つ視野の広さを問います。
- ▶知識を知恵にする力 [Induction]：知識として吸収した情報から法則・共通性（一般論）を見だし、応用可能な知恵にする力です。いわゆる「帰納的推論力」で、複数の個別事例提示から共通するもの、異質なものを探すなどの形式の問題です。
- ▶知恵を活用する力 [Deduction]：法則・共通性（一般論）を個別の事象に当てはめ、結論を見いだす力を指します。いわゆる「演繹的推論力」で、事象を提示して結論を特定したり、結果を提示して原因を特定したりする形式の問題があります。



「出題ジャンル」とは

日経 TEST の問題は大きく6つのジャンルに分かれ、それぞれの出題分野別のスコアも算出します。このスコアから、不得意分野を克服するための気付きと学習のアドバイスを得ることができます。

- ▶経営環境 (Environment)：ビジネスパーソンの基礎知識として、世界における日本経済の実力や、産業界の大きな流れに関する知識とそれに基づき考える力を問います。
- ▶企業戦略 (Corporate Strategy)：経営環境の変化に対応した各産業の動向や、主な企業の経営戦略などに関するテーマから出題します。
- ▶会計・財務 (Finance)：企業会計・財務のほか、金融商品や業界に関する実践知識を含めて、ファイナンスに関する知識と、それに基づく考え方を問います。
- ▶法務・人事 (Legal)：知的財産や、雇用・労働に関する知識もビジネスパーソンに欠かせません。知識を活用して判断する力も含めて問います。
- ▶マーケティング・販売 (Marketing)：ウェブを活用したマーケティングなど新しい手法もある一方、変わらない原則も存在するのがこの分野です。ビジネスに必要な知識と考え方を問います。
- ▶生産・テクノロジー (Technology)：すべてのモノがインターネットにつながる「IoT」をはじめ、この分野は経済のステージを大きく変える可能性を秘めます。「技術」への感度も問います。

日経 TEST 成績表の見方について

経済知力スコア

あなたの解答結果をもとに、IRT（項目反応理論）と呼ばれる統計モデルを使って算出した数値です。受験者全体の能力分布や、問題の難易度に影響されず、常に同じ尺度で受験者の能力が評価できるよう工夫されています（正答数や正答率とは一致しません）。上限の目安は1000点です。

※パーセンタイルランクの説明は成績表を参照して下さい。

経済知力スコア	
経済知力スコア (1000点が上限の目安)	570
パーセンタイルランク	64
経済知力偏差値	
あなたの偏差値	58

あなたの偏差値

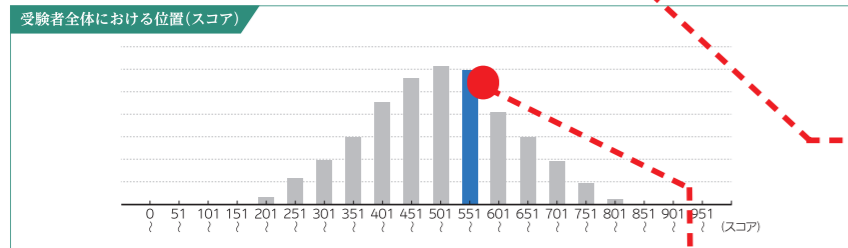
←低い D C B A S 高い→

※経済知力偏差値は、過去10年分の受験者全体のデータから算出された数値です。またS、A、B、C、Dの記号は、偏差値で上位から5段階に分類したものです。

スコア・コメント
あなたの今回の経済知力スコア570は、偏差値に換算すると58と、全体を5段階に分類した中で最上位のグループに入るレベルです。経済に関する基本的な知識をもとに日々の業務を着実に遂行するのに必要な経済知力を有しています。

経済知力スコアコメント

経済知力スコアのレベルをもとに、あなたの知識・知力の現状をコメントしています。



経済知力偏差値

上記の経済知力スコアを偏差値にしたものです。あなたの獲得したスコアが平均点であれば50で、スコアがそれよりもよければいほど偏差値も高くなります。

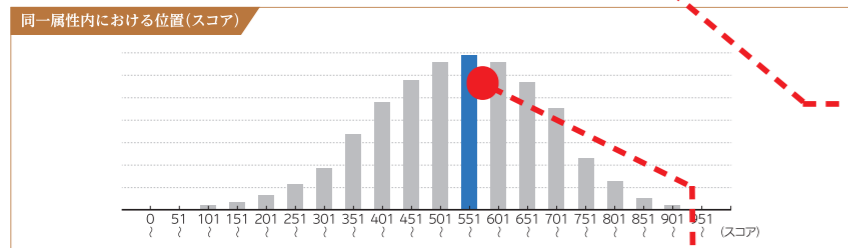
受験者全体における位置

経済知力スコアに基づき、直近までの全国一斉試験などの受験者全体の中であなたの相対的な位置を示したものです。あなたの位置はスコア分布を示すグラフのバーの色を変えて示してあります。

同一属性内偏差値	
属性区分	銀行/一般社員
同一属性におけるあなたの偏差値	54
同一属性の平均スコア	525
(参考) 同一業種/係長の平均スコア	563

スコア・コメント
あなたが申請した銀行、一般社員は平均スコアが525であり、この属性の中であなたの経済知力は上から2番目のグループに入るレベルです。ちなみに係長の平均スコアは563です。

スコア・コメント
あなたが申請した銀行、一般社員は平均スコアが525であり、この属性の中であなたの経済知力は上から2番目のグループに入るレベルです。ちなみに係長の平均スコアは563です。



同一属性内における偏差値

あなたと同一の業種・役職（属性）のグループの中で見た場合の、あなたの経済知力スコアを偏差値にしたものです。

同一属性内における位置

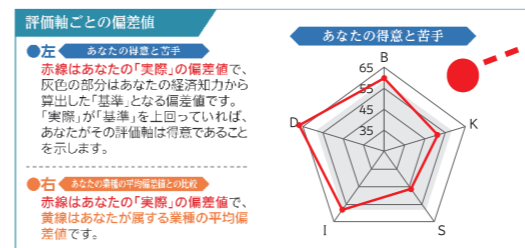
あなたと同一の業種・役職（属性）のグループのなかでのあなたの相対的な位置を示したものです。

評価軸別スコア

5つの評価軸について、スコアと偏差値を示したものです。評価軸の詳細は1ページ目の「評価軸」とは>を参照して下さい。

評価軸別スコア		スコア	偏差値
知識	Basic 基礎知識	60	64
	Knowledge 実践知識	31	50
	Sensitive 視野の広さ	46	47
知力	Induction 知識を知恵にする力	60	63
	Deduction 知恵を活用する力	68	66

コメントとアドバイス
あなたの経済知力を評価軸別に見ると、「基礎知識」と「知識を知恵にする力」、「知恵を活用する力」はとて高い水準、「実践知識」は平均的な水準、「視野の広さ」は低い水準となっています。一方、「知恵を活用する力」はとて得意、「基礎知識」と「知識を知恵にする力」は得意としますが、「実践知識」は苦手、「視野の広さ」はとて苦手のようです。



左 あなたの得意と苦手
赤線はあなたの「実際」の偏差値で、灰色の部分はあなたの経済知力から算出した「基準」となる偏差値です。「実際」が「基準」を上回っていれば、あなたがその評価軸は得意であることを示します。

右 あなたの業種の平均偏差値との比較
赤線はあなたの「実際」の偏差値で、黄線はあなたが属する業種の平均偏差値です。

レーダーチャート

左レーダーチャートのうち赤線は、ご自分の評価軸ごとの偏差値を示しています。偏差値が極端に高い、あるいは低いためにチャートの範囲内に収まらない場合は、別途×や▲などの記号で示しています。また灰色部分の外輪は、あなたの経済知力をもとにした基準値です。実際の軸別偏差値が基準値を上回っていれば、あなたがその評価軸を「得意」としていることを示しています。その差が大きいほど、より「得意」であるといえます。逆に下回っていれば、差の程度に応じて「苦手」であることを示しています。

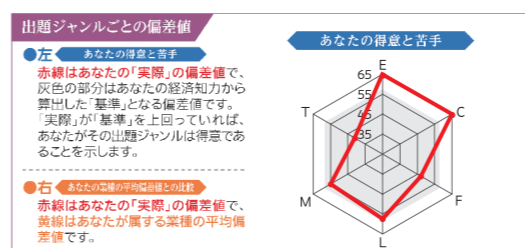
右レーダーチャートのうち赤線は、左レーダーチャートと同じくご自分の評価軸ごとの偏差値を示しています。黄線はあなたが属する業種の平均偏差値です。2つの線の差を見ることで、評価軸別の業界平均に比した優劣がわかります。赤線が黄線を上回っていれば、あなたの評価軸スコアは、差の程度に応じて業界内で平均以上の水準にあるといえます。逆に下回っていれば、平均以下の水準にあることを示しています。

出題ジャンル別スコア

経営環境・産業動向、企業戦略など6つに分けた出題ジャンル別のスコアと、偏差値を示したものです。出題ジャンルの詳細は1ページ目の「出題ジャンル」とは>を参照して下さい。

出題ジャンル別スコア		スコア	偏差値
Environment 経営環境		62	64
Corporate Strategy 企業戦略		62	65
Finance 会計・財務		50	48
Legal 法務・人事		60	61
Marketing マーケティング・販売		54	54
Tecnology 生産・テクノロジー		45	42

コメントとアドバイス
あなたの経済知力を出題ジャンル別に見ると、「経営環境・産業動向」、「企業戦略」、「法務・人事」はとて高い水準、「マーケティング・販売」は高い水準、「会計・財務」は平均的な水準、「生産・テクノロジー」はとて低い水準となっています。一方、「経営環境・産業動向」、「企業戦略」、「法務・人事」はとて得意、「マーケティング・販売」は得意としますが、「生産・テクノロジー」はとて苦手のようです。



左 あなたの得意と苦手
赤線はあなたの「実際」の偏差値で、灰色の部分はあなたの経済知力から算出した「基準」となる偏差値です。「実際」が「基準」を上回っていれば、あなたがその出題ジャンルは得意であることを示します。

右 あなたの業種の平均偏差値との比較
赤線はあなたの「実際」の偏差値で、黄線はあなたが属する業種の平均偏差値です。

※「水準の高低」、「得意・苦手」について

「水準が高い」または「水準が低い」とは、受験者間 (between) の比較に基づくもので、あなたが他の受験者に対して「優っている」か「劣っている」かという観点を示しています。一方、「得意である」または「苦手である」とは、あなたの中 (within) での比較に基づくもので、他の受験者との比較ではありません。従って1つの成績に対して、受験者集団の中では「水準が高い」けれども、あなた自身は「苦手である」、あるいはその逆に「水準は低い」けれども「得意としている」という評価が同時に付与される可能性があります。